編修趣意書

（教育基本法との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
106-155	高等学校	芸術科	書道Ⅰ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	書Ⅰ 002-901	書道Ⅰ		

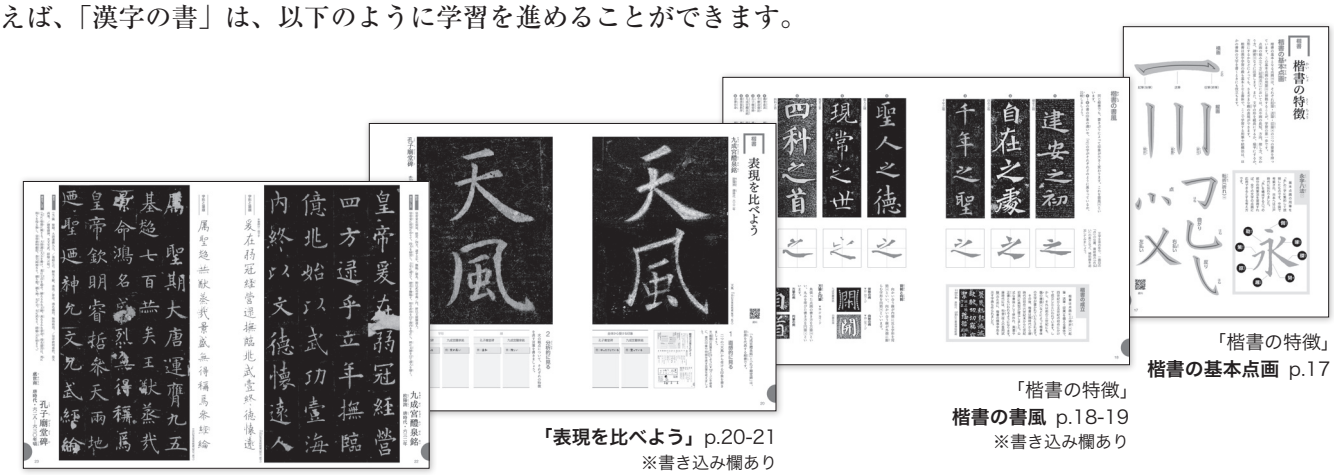
1. 編修の基本方針

「書の美を楽しむ」

本教科書は、生徒が書に関心をもち、表現と鑑賞の基礎的な能力を育みながら書に対する感性を高め、書の伝統と文化を理解し、生涯にわたり書を愛好する心情をもてるようになることを目指して編修しました。

① 表現と鑑賞の基礎的能力を育成する

それぞれの単元の主教材を**代表的な古典**で配列し、基盤となる確かな知識・技能の育成を目指しました。たとえば、「漢字の書」は、以下のように学習を進めることができます。



「楷書の特徴」
楷書の基本点画 p.17

「楷書の特徴」
楷書の書風 p.18-19
※書き込み欄あり

「表現を比べよう」 p.20-21
※書き込み欄あり

「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」
原寸大 p.22-23

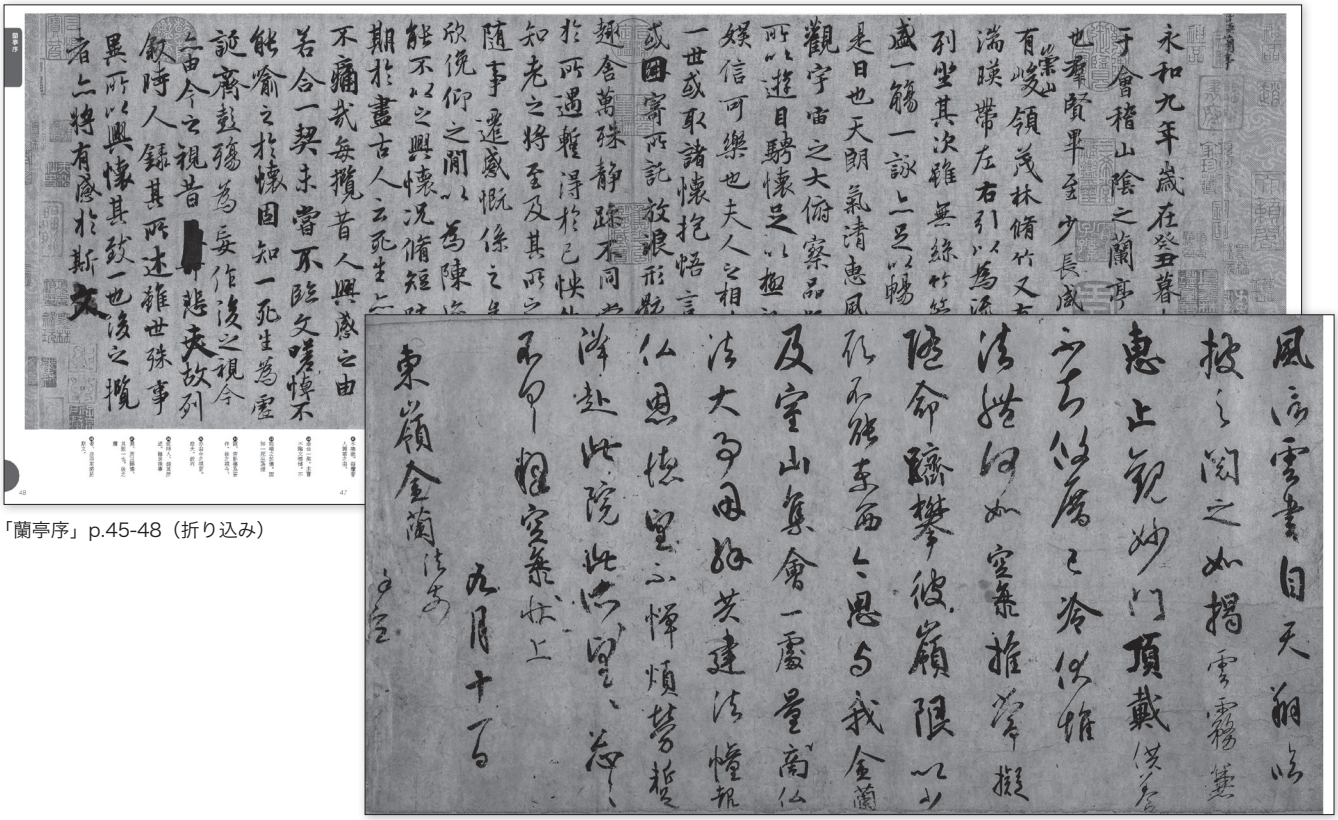
生徒が根拠をもって、その古典の**「表現の特徴」**を捉えられるよう、具体的かつ簡潔に説明しています。

臨書手本と解説 p.24-25

② 書への感性を高め、永続的な愛好心を育成する

◉ 書の名品を感じる体験

学習材図版は可能な限り**原寸大で高精細**なものを掲載しました。とくに**「蘭亭序」「風信帖」**は、**全文を原寸大**で掲載し、生徒が書の名作と向き合う時間を約束しています。また、硬筆字形も全文掲載しており、生徒の臨書学習の補助となるよう配慮しました。



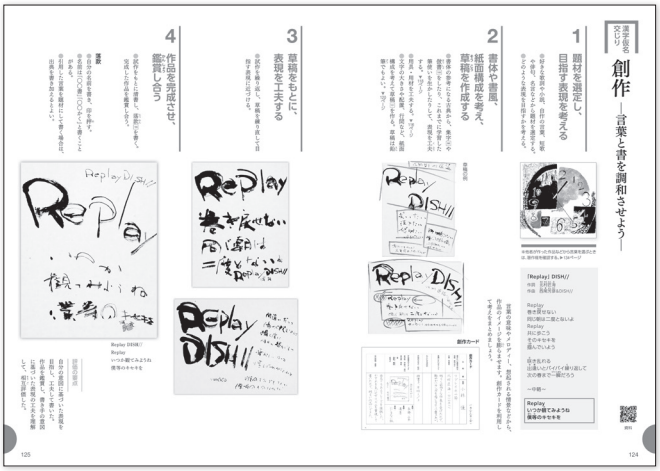
「蘭亭序」p.45-48（折り込み）

「風信帖」p.57-59（折り込み）

◉ 創作と鑑賞の体験

創作教材は、生徒がそれまでに学んだ内容を踏まえて、**意図をもって**書表現を試みる場として設定しました。生徒が**自立的**に活動を進められるよう、紙面には手順と例示を手厚く示しました。

鑑賞教材は、生徒が書作品から感じたことを自分の言葉を用いて説明し合う場として設定しました。**書の感性**と**語彙力**をともに高め、また、鑑賞する楽しさを生徒同士で共有できるよう配慮しました。



漢字仮名交じりの書「創作」p.124-125

漢字の書「鑑賞」p.76-77

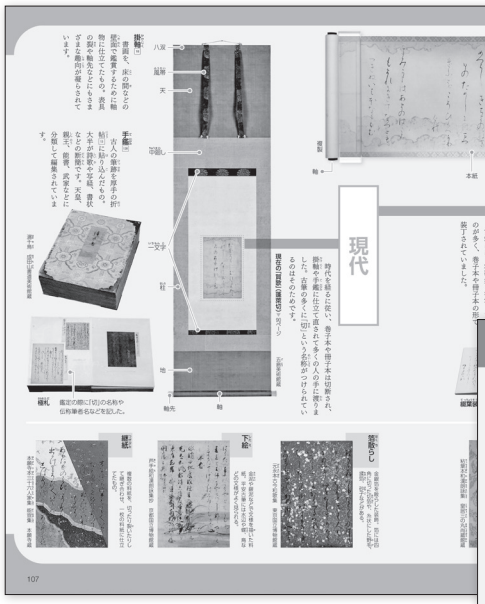
※ 巻末の「鑑賞の言葉を広げよう」を活用することで、より多くの語彙に出会うことができます。
（参照：「編修趣意書（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）」p.2）

③ 書の伝統と文化への理解を深める

◉ コラム

生徒の知的好奇心を刺激するテーマを取り上げた読みものを「コラム」として随所に配置しました。

p.43



p.106-107

p.134

コラム一覧

「唐の四大家（p.34-35）」 世界史
「海を越えてきた仏教と王義之の書（p.39）」 世界史・日本史
「王義之（p.43）」 世界史
「始皇帝と文字（p.71）」 世界史
「三筆から三跡へ（p.62）」 日本史
「受け継がれる古筆（p.106-107）」 日本史
「著作権（p.134）」 情報

他教科の学習と関連する内容

◉ 資料

巻末には、書の基礎知識の確認や、生徒の自主的な探究・活動を後押しする資料類をまとめて配置しました。

p.143

p.149

p.154-155

資料一覧

「書道用語 200」 p.143-148
「書道史略年表」 p.149-153
「書を見に行こう」 p.154-157
「鑑賞の言葉を広げよう」 p.158-159

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
三分野[*1] 共通 *1 漢字の書 仮名の書 漢字仮名交じり の書	・扉には、豊かな情操を培いつつ、幅広い知識と教養を身につけられるよう、その分野の名品を大きく示し、その迫力や美を楽しめるよう配慮しました。（第１号）	p. 12–13, 78–79, 108–109, 135
	・臨書をベースとした基本教材においては、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うために、代表的な古典作品を学習材とし、また、書風、表現の特徴、歴史的背景などさまざまな視点からの解説を掲載しました。（第１号）	p. 24–25 他 p. 90–91 他
	・創作の活動においては、創作過程を明確にし、見通しをもって学習を進められる構成とし、自主・自律の精神を培うことができるよう配慮しました。また、題材を決める活動の指示と例示を手厚くし、自身の創造性を発揮する主体的な学習態度を養えるよう配慮しました。（第２号）	p. 74–75, 102–103, 124–125, 137–140, 142
	・鑑賞の活動においては、書を見て感じたことや考えたことを伝え合う言語活動を取り入れて、自己と他者を尊重し、協働的な学びができるよう工夫しました。（第３号）	p. 76–77, 104–105, 126–127, 141
	・漢字の変遷や、漢字から仮名が成立する過程、日本語の表記である漢字仮名交じり文の成立や漢字仮名交じりの書の変遷を示すことで、日本と中国が育んできた文字を通して、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養えるよう配慮しました。（第５号）	p. 14–15, 80–81, 110–111
書写から書道へ	・幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うために、国語科書写の学習内容を振り返って芸術科書道との接続を図るページを設けました。（第１号）	p. 4–7
	・豊かな情操と道徳心を培うことができるよう、文人の書への向き合い方を紹介するページや、書の道具の扱い方などを確認するページを設けました。また、書を書くときの姿勢･執筆を確かめるページを設け､健やかな身体の育成に配慮しました。（第１号）	表紙裏 –p. 1, p. 8–11
	・男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うために、写真における男女の人数や役割などに配慮しました。（第３号）	p. 10 他
	・日本の伝統産業である筆・墨・硯・和紙について学ぶことで、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しました。また、筆・墨・硯・和紙の材料について紹介することで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮しました。（第４号、第５号）	p. 8–9
漢字の書	・複数の古典を比較することで特徴を捉える教材を適宜設け、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うよう配慮しました。（第１号）	p. 22–23 他
仮名の書	・学習材となる古筆には、書かれている意味をテキストで示し、古来日本人が花鳥風月などの自然に自分の心情を寄せていたことに気づき、豊かな情操と自然を大切にする態度を養えるよう配慮しました。（第４号）	p. 90–91 他
	・料紙の作り方や鑑賞の様式など、書の美を楽しむ文化について紹介し、豊かな情操を培うとともに、伝統と文化を尊重する態度を養うよう工夫しました。（第１号、第５号）	p. 106–107
漢字仮名交じり の書	・「漢字の書」「仮名の書」で身につけた技能をもとに、自らの意図に基づいて表現を工夫できるようになるために、表現の工夫の例を多く示し、創造性を培うことができるように配慮しました。（第２号）	p. 114–123
	・現代において身の回りにあるさまざまな書や、高校生の校外での書活動の様子を示すことで､書を通して社会に参画することの意義を考えられるよう配慮しました。（第３号）	p. 132–133
	・学習材の文字例に自然に関する文言を取り上げることで、生命を尊重し、環境保全に寄与する態度を養えるよう配慮しました。（第４号）	p. 112–113
篆刻・刻字	・創作の活動においては､学習過程を明確にし､見通しを持って学習を進められる構成とすることで､自主・自律の精神と主体的な学習態度を養えるよう配慮しました。（第２号）	p. 137–140, 142
	・鑑賞の活動においては、感じたことや考えたことを伝え合う言語活動を取り入れて、自己と他者を尊重し、協働的な学びができるよう工夫しました。（第３号）	p. 141

口絵 書道史地図 資料 ●書道用語 200 ●書道史略年表 ●書を見に行こう ●鑑賞の言葉を広げよう	・「書道用語 200」で学習に役立つ書道用語を取り上げ、書道に関する幅広い知識が身につくよう配慮しました。（第１号）	p. 143–148
	・「書を見に行こう」で身近にある美術館・博物館を紹介して、それらの社会施設の活用について示すことで、社会の一員としてその形成に参画し発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。（第３号）	p. 154–157
	・「書道史地図」と「書道史略年表」を示すことで、我が国と他国の伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。（第５号）	p. 2–3, p. 149–153

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

❶ 教育のＩＣＴ化への取り組み

・漢字や仮名の運筆動画や練習用紙、関連資料などをインターネットから見られるようにしています。タブレットやノートパソコンから教科書紙面上の**二次元コード**や**URL**にアクセスするといつでも視聴でき、授業の理解を深めます。また、家庭学習や個別学習も効果的に進められます。（参照：「編修趣意書（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）」p.4-5）

❷ 他教科の学習との関連

・国語（古典や漢文）や日本史、世界史など他教科の学習と関連する教材には**教科関連マーク**を付けることで意識化を図り、効果的な指導ができるように配慮しました。（p.25、34-35、39、95 他）

❸ 中学校書写との接続

・巻頭に**「書写から書道へ」**を設け、中学校国語科書写で学習したことと、高等学校芸術科書道で学ぶことや学び方を示しました。中学校から高等学校への円滑な接続が図れるように配慮しました。（p.4-11）

・**小筆の扱い**に慣れていない生徒もいることを踏まえて、「仮名の書」では基本教材の前に、小筆を用いた基本的な線の書き方などの導入教材を置き、スムーズに仮名の学習に入れるように配慮しました。

❹ ユニバーサルデザインを取り入れた紙面

・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。

・情報のまとまりが分かりやすいレイアウトや色使いにし、生徒の集中を妨げないよう配慮しています。

・常用漢字、中学校以上配当の読み、生徒になじみの薄い書道用語には振り仮名を付け、学習の補助となるよう配慮しています。

・本文の振り仮名にはUDゴシック体を採用し、視認性を高めています。

・落ち着いて学習が進められるよう、教科書１冊で授業を進められるようシンプルな構成にしました。

❺ 環境に配慮した印刷・造本

・再生紙・植物油インキを使用しています。

・印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷しています。

・ページの開きがよく、かつ耐久性が非常に高いＰＵＲ製本を採用しました。教科書を二つ折りにできるほど開いても壊れることがありません。また、リサイクル性にも優れています。

編修趣意書

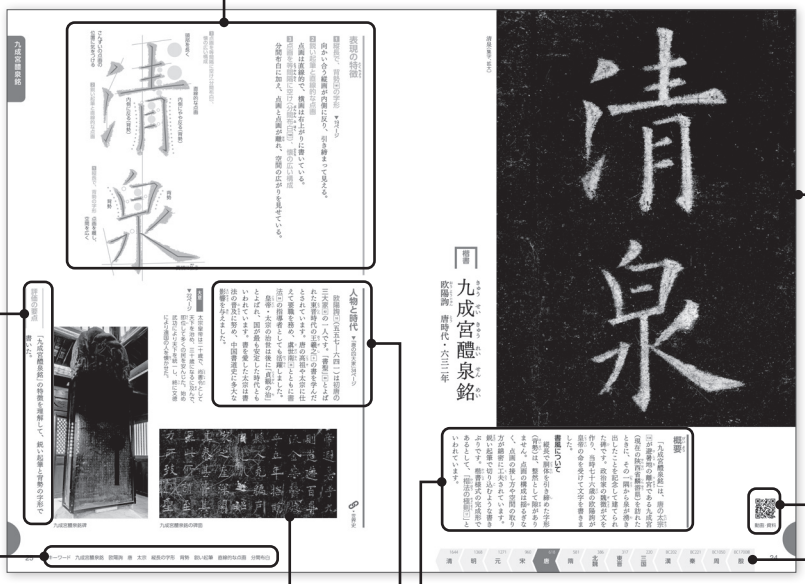
（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
106-155	高等学校	芸術科	書道Ⅰ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	書Ⅰ 002-901	書道Ⅰ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 学びやすい紙面構成

臨書学習を中心とした紙面は見開き構成とし、生徒が**主体的**に取り組めるよう明快な紙面構成を工夫しました。上段には**臨書に必要な情報**（表現の特徴の解説や図解）を、下段には**基礎的な知識**（当該古典や筆者について）を精選して掲載しました。



表現の特徴
学習材を通して学ぶポイントを焦点化して、簡潔な解説と図版で分かりやすく示しました。

評価の要点
「書風について」や「表現の特徴」を踏まえた学習のまとめを示しました。

キーワード
当該教材の学習における重要用語を示しました。評価の際にも活用できます。

臨書手本
「書道Ⅰ」での学習に合うように集字し、高精細で美しい図版に仕上げました。

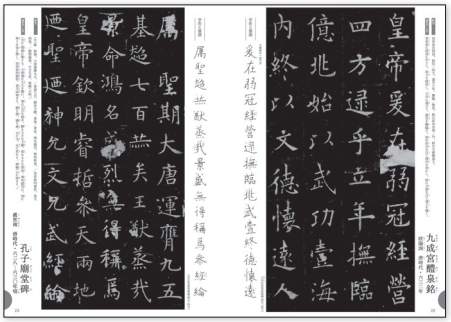
二次元コード
インターネットを介して、学習材の運筆動画や関連資料を見ることができます。

時代スケール

資料写真
石碑の写真などを掲載し、生徒の興味・関心を高められるようにしました。

人物と時代
筆者や関連人物について、また、その古典が生まれた時代背景について解説しました。

概要・書風について
古典の歴史的背景と書風について解説しました。



「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」p.22-23

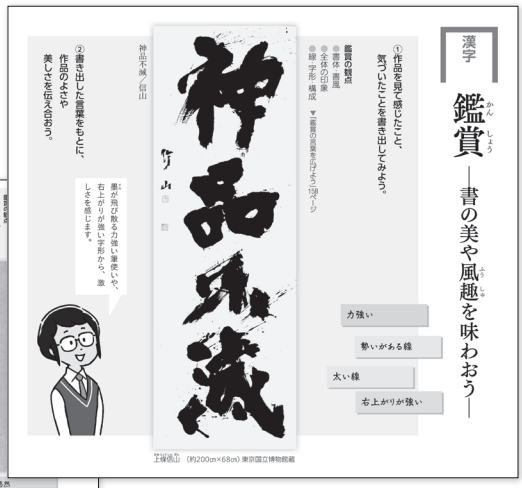
漢字の楷書教材では、二つの**古典を比較**してその特徴を捉える導入としました。**原寸**の高精細な図版を掲載し、鑑賞と表現を相互に関連付けながら学習を進められるようにしました。

釈文・書き下し文・大意
書かれている内容を捉えられるよう、釈文・書き下し文・大意を掲載しました。

字形と筆順
特に字形や筆順が分かりづらい文字は、硬筆の骨書きと筆順を示しました。

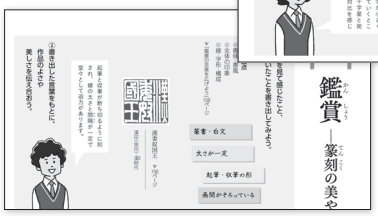
② 鑑賞学習の充実

主体的・対話的な学習のより一層の充実を図り、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」「篆刻・刻字」の各分野に**鑑賞の活動**を設けました。



p.76（部分）

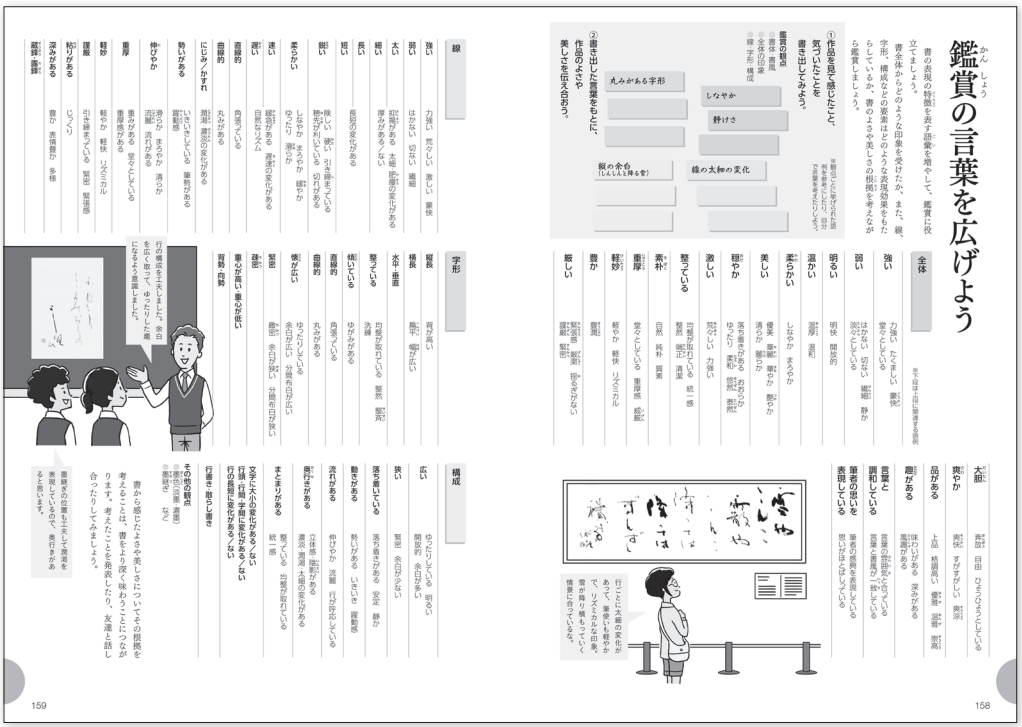
p.126（部分）



p.141（部分）

p.104（部分）

巻末の**「鑑賞の言葉を広げよう」**を併用することで、直感的印象にとどまらない、根拠ある鑑賞ができるようになるよう配慮しました。



p.158-159

●鑑賞の際に用いる語彙を観点ごとに整理して豊富に取り上げました。

●より多くの書の美に触れることができるように、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」「篆刻・刻字」の**扉ページ**には、見開きにわたって大きく鮮明な画像で古典や著名な作品、活動中の写真を掲載しました。

p.12-13

3 精選された学習材・図版群

	学習材		その他の図版
漢字の書	楷書	「九成宮醴泉銘」原寸 「孔子廟堂碑」原寸 「雁塔聖教序」原寸 「自書告身」原寸 「牛橛造像記」原寸 「鄭羲下碑」原寸 参考教材：「隅寺心経」	「薦季直表」
	行書	「蘭亭序（神龍半印本）」原寸 「風信帖」原寸 「争坐位文稿」原寸	「蘭亭序（張金界奴本）」「定武蘭亭序（呉炳本）」「臨蘭亭序（董其昌）」「臨蘭亭序（近衛家熙）」「蘭亭十三跋（趙孟頫）」「温泉銘」「蜀素帖」「三体白氏詩巻」「光定戒牒」「伊都内親王願文」「智証大師諡号勅書」「国申文帖」「白氏詩巻」
	草書	「真草千字文」	「書譜」「自叙帖」「離洛帖」
	隷書	「曹全碑」原寸	「礼器碑」
	篆書	「泰山刻石」	「甲骨文」「大盂鼎」
仮名の書		「蓬萊切」原寸 「高野切第三種」原寸 「関戸本古今和歌集」原寸 参考教材：「継色紙」「升色紙」「寸松庵色紙」原寸	「本阿弥切古今和歌集」「巻子本古今和歌集」「隅田八幡人物画象鏡銘」「正倉院仮名文書」「有年申文」「方丈記」「高野切第一種」「高野切第二種」
漢字仮名交じりの書		「交脚弥勒」「東大寺切」「粘葉本和漢朗詠集」「後三年合戦絵巻」「奥之細道図」、高村光太郎、日比野五鳳	
篆刻・刻字		伊藤春畝（博文）、日比野五鳳、香川峰雲、河野隆、富岡鉄斎、良寛	
鑑賞		漢字の書：上條信山、西川寧、戸田提山、青山杉雨、松本芳翠、松井如流、中野越南 仮名の書：日比野五鳳、尾上柴舟、杉岡華邨、小山やす子、安東聖空、森田竹華 漢字仮名交じりの書：金子鷗亭、青木香流、駒井鷺静、森田安次、日比野五鳳、會津八一 篆刻：漢印、古銭、呉昌碩、初世中村蘭台、趙之謙、大和古印、河井荃廬	

●古典の図版は、**高精細**の美しい印刷で、可能な限り**原寸大**としました。色調も調整して**原典に近づけて**います。「蘭亭序」と「風信帖」は臨場感あふれる原寸大の全景です。

4 資料の充実

●その教材の学習でとくに重要な事柄や、その教材に関連して、書についてより深く考えるきっかけとなるような事柄を、**ミニコラム**としてまとめました。

ミニコラムの内容

【漢字】「拓本の採り方」「永字八法」「楷書の成立」「蔵法と露法」「顔法」「方筆と円筆」「神龍半印本と印」「比較しよう」
【仮名】「片仮名」「連綿と字形の変化」「和歌集の書かれ方」「伝称筆者」「料紙（継紙）の作り方」
【漢字仮名交じり】「いろいろな用具・用材」「地域とともに」
【篆刻・刻字】「いろいろな刻字」

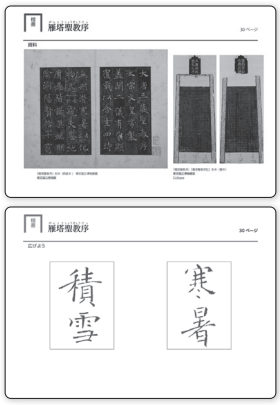
●「漢字仮名交じりの書」に「**生活に広げる**」というページを設け、手紙や履歴書といった硬筆による**実用的**な書や、**生活や社会の中で**用いられている書についても取り上げて、多様な文字や書と関わっていると気づくことができるように工夫しました。

●巻頭には「**書道史地図**」、巻末には「**書道用語 200**」「**書道史略年表**」「**書を見に行こう**」「**鑑賞の言葉を広げよう**」などの学習に役立つ資料を豊富に掲載しました。

● **二次元コード**のある教材では、インターネットに接続して**運筆動画や創作参考作品、思考ツール**などの資料を見ることができます。

運筆動画

資料類



二次元コード

2. 対照表

Ⓓ…インターネットを使って、動画を見たり、資料を確かめたりできる教材。

図書の構成・内容			学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
書の美を楽しむ Ⓓ 書道史地図 Ⓓ			B（1）ア（ア）、イ（イ）	表紙裏–p.1 p.2–3	
書写から書道へ	書写で学んできたこと Ⓓ 書道で学ぶこと		A（1）ア（ア）（イ）、イ（ア）、ウ（ア）（イ）	p.4–7	
	用具・用材 Ⓓ		A（1）イ（ア）	p.8–9	
	姿勢・執筆法		A（1）イ（ア）	p.10–11	
漢字の書	漢字の成立と変遷 Ⓓ		B（1）イ（イ）（ウ）	p.14–15	
	拓本 Ⓓ		B（1）イ（イ）（エ）	p.16	
	楷書	楷書の特徴 Ⓓ 表現を比べよう Ⓓ 「九成宮醴泉銘」Ⓓ 「孔子廟堂碑」Ⓓ 「雁塔聖教序」Ⓓ 「自書告身」Ⓓ コラム 唐の四大家 「牛橛造像記」Ⓓ 鄭羲下碑 Ⓓ コラム 海を越えてきた仏教と王羲之の書 参考 「隅寺心経」Ⓓ	A（2）ア（ア）、イ（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）ア（ア）、イ（ア）（イ） 共通事項 （1）ア、イ	p.17–41	
	行書	行書の特徴 Ⓓ コラム 王羲之 「蘭亭序」Ⓓ 「争坐位文稿」Ⓓ 「風信帖」Ⓓ コラム 三筆から三跡へ	A（2）ア（ア）、イ（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）ア（ア）、イ（ア）（イ） 共通事項 （1）ア、イ	p.42–62	

漢字の書	草書	草書の特徴 「真草千字文」Ⓓ	A（2）ア（ア）、イ（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）ア（ア）（イ）、イ（ア）（イ） 共通事項（1）ア、イ	p.63–73	
	隷書	隷書の特徴 Ⓓ 「曹全碑」Ⓓ			
	篆書	篆書の特徴 Ⓓ コラム 始皇帝と文字 「泰山刻石」Ⓓ			
		創作　―古典を生かそう― Ⓓ 鑑賞　―書の美や風趣を味わおう― Ⓓ	A（2）ア（ア）（イ）、イ（ア）（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）ア（ア）、イ（ア）（イ） 共通事項（1）ア、イ	p.74–77	
仮名の書		仮名の成立 Ⓓ	B（1）イ（イ）（ウ）	p.80–81	
		仮名を書く準備 Ⓓ 平仮名の単体 Ⓓ 変体仮名 Ⓓ 連綿 Ⓓ	A（3）ア（ア）、イ（ア）（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）ア（ア）、イ（ア）（イ）（ウ） 共通事項（1）ア	p.82–89	
		「蓬萊切」Ⓓ 「高野切第三種」Ⓓ 「関戸本古今和歌集」Ⓓ	A（3）ア（ア）、イ（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）ア（ア）、イ（ア）（イ）（エ） 共通事項（1）ア、イ	p.90–97	
		全体構成 参考　三色紙の散らし書き Ⓓ	A（3）ア（ア）（イ）、イ（ア）（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）ア（ア）、イ（ア）（イ）（エ） 共通事項（1）ア、イ	p.98–101	
		創作　―古筆を生かそう― Ⓓ 鑑賞　―書の美や風趣を味わおう― Ⓓ コラム 受け継がれる古筆	A（3）ア（ア）（イ）、イ（ア）（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）ア（ア）、イ（ア）（イ）（エ） 共通事項（1）ア、イ	p.102–107	
漢字仮名交じりの書		漢字仮名交じりの書の変遷 Ⓓ	B（1）イ（イ）（ウ）	p.110–111	
		表現を比べよう Ⓓ 表現の工夫1　線による表現 Ⓓ 表現の工夫2　用具・用材による表現 表現の工夫3　古典を生かした表現 Ⓓ 表現の工夫4　紙面構成	A（1）ア（ア）（イ）（ウ）、イ（ア）（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）イ（ア） 共通事項（1）ア、イ	p.112–123	
		創作　―言葉と書を調和させよう― Ⓓ 鑑賞　―書の美や風趣を味わおう― Ⓓ	A（1）ア（ア）（イ）（ウ）、イ（ア）（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）イ（ア）（イ）（エ） 共通事項（1）ア、イ	p.124–127	
		生活に広げる Ⓓ コラム 著作権 Ⓓ	A（1）ア（ア）（イ）、イ（ア）（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）ア（イ）、イ（ア） 共通事項（1）ア、イ	p.128–134	
篆刻・刻字		篆刻と落款 創作　―落款印を刻そう― Ⓓ 鑑賞　―篆刻の美や風趣を味わおう― Ⓓ 創作　―好きな言葉を彫ろう―	A（2）ア（ア）（イ）、イ（ア）（イ）、ウ（ア）（イ） B（1）ア（イ）、イ（ア）（イ）（エ） 共通事項（1）ア、イ	p.136–142	
資料		書道用語２００ Ⓓ 書道史略年表 Ⓓ 書を見に行こう Ⓓ 観賞の言葉を広げよう	B（1）イ（イ）（エ）	p.143–159	